



語りあい、希望をもとめて

若い群像

いろいろな職種の勤労青年が集まり、語りあいながら希望を求めて、静止したものではなく動的な学習を通じて、社会性を身につける。それが登別市青年学園の目標です。

孤立している都市の若者たちに広く門をひらき、ボウリング大会、バスツアー、社会見学により友情の輪は全市から全道へ、そして全国へと広げられる。

商店主、企業主の深い理解のもとに、昭和39年に約60人の青年で発足した青年学級は、今や100人以上の青年学園として発展しています。人と人とのふれあいから、市民性を高めるための要素を作り上げる。楽しく、豊かな社会生活を送るために青年学園には、多くの若者が集まっている。活気あふれる豊かな登別市建設の担い手としても。

排水路、医療助成などに予算追加



定例市議会風景

第3回定例市議会

第三回定例市議会は、九月二十八日から十月四日まで開かれ、二十八日は、北海道新幹線鉄道誘致特別委員会の中間報告、議案二十一件の一括上程があり、任期満了による収入役の選任と教育委員の任命に同意。

二十九、三十日は休会。十月一日から二日間にわたって一般質問が行われ、四日の最終日には、各常任委員会の付託議案の審査結果を報告、原案通り可決。その他工事請負契約などを承認し、北教組胆振支部登別支会から出されていた教職員に対する、被服等の支給についての請願書は、社会文教常任委員会に付託、審議することになりました。主な内容をお知らせします。

新幹線ルートで中間報告

新幹線誘致特別委員会の中間報告では、助役、議会議長、特別委員の正副委員長らが十八日に上京し、室蘭市などと共に、太平洋回りの最終決定を目ざして中央陣情を行った。ところが、予測もなかった。北回り内定への報道があつて、急ぎよ高田市長も上京し、室蘭、伊達の三市代表が九月二十一日朝、田中首相に会い、太平洋ルートの再検討を強気に陳情したと、札幌―室蘭間が整備計画路線に組み入れられるまでの経過を説明しました。

また、札幌―室蘭間の整備計画路線決定は、なお流動的な情勢にあるため、五十四年開通を目ざして今後とも強気に運動を続け、室蘭―長万部間についても早急に整備計画路線となるよう運動する、との今後の方針を述べました。

総合体育館の工事契約も議決

補正予算を可決

昭和四十八年度の補正予算では一般会計が一億四千三百八十四万六千円を増額して、合計三十七億九千三百三十二万三千円となりました。増額の主な内容は、

米馬地区国鉄用地買収費に

七百八十九万六千円

重度心身障害者 母子家庭児童医療助成費に

七百七十一万四千円

愛のインターホン設置など老人福祉に

七十三万九千円

中央通り歩道舗装新設事業費に

二百三十万四千円

室蘭、登別急病センター設置負担金に

五百三十万四千円

塵芥収集処理に必要な経費として

四百七十七万九千円

市道維持補修に

三百四十六万五千円

市街地排水路整備事業費に

九百万円

日雇労働者就職促進助成に

四十五万五千円

カルルス温泉小学校水道布設に

二百三十万四千円

人事院勧告に伴う職員の給与改正

八千三百六十九万三千円

特別会計では、国保会計で保健婦設置などで、六百四万三千円を

追加し、億四千六百二十二万七

千円に、観光事業では、二百五十二万五千円を追加し、六千八百七十七万三千円に、学校給食会計で三百九十五万四千円を追加して、一億二千五百三十五万三千円に上。鷲別東部地区土地地区画整理事業では、五百二十二万二千円を追加して九千九百八十八万四千円に、また、水道事業会計でも、収益的収支で八百四十二万三千円を、資本的収支で二百四十七万六千円を追加補正しました。

条例の制定と改正

このほかに、市職員の給与改正乳幼児医療費の助成、カルルス国民宿舎条例、日雇労働者の就職促進助成、都市公園、火災予防などの条例の一部改正と新たに、母子家庭児童、重度心身障害者の医療費助成条例の制定が議決されました。

町名地番の整理も

昭和四十九年四月一日から実施するため事務を進めていた、町名地番の改正が可決されました。

現行の十五町のうち笠山、札内中登別、登別温泉、上登別、カルルスの六町を除く九町を細分化して整理し、新たに三十二町、百二十八の丁目を設けることになりました。

九議員から一般質問

した。

工事請負契約は、警別保育所を三千六百万円で三月二十六日まで完成するよう契約を締結するもので、待たれていた市立総合体育館の主体工事は、二億七千六百万円で明年七月三十一日まで完成するものです。付帯工事は電気工事に一千五百万円、設備工事に二千八百万円をかけて二カ年継続事業として工事に着手することになりました。

収入役の選任と教育委員の任命に同意

十月十日で任期満了となった八十嶋収入役の後任に、片岡義市(五)を選任同意し、教育委員の九月末任期切れによって山下文雄教育委員(五)を再任することに同意しました。

また、再任を承認された山下文雄教育長と十月十日付けて退任の八十嶋武雄収入役、さらに後任の片岡義市元消防長の退職手当の増額支給を認めました。

なお、収入役の選任にともなうて、消防長、経済部長、財政課長の人事発令が次のおおこなわれました。

収入役 片岡義市
消防長 大笹 繁
経済部長 佐藤作太郎
財政課長事務取扱(総務部長兼務) 中浜元三郎

十月一日から二日間、九名の議員から市政についての一般質問があり、活発な質疑応答が行われました。

主な内容を紹介してみましよう
警別地区の急激な人口増に伴い、警別公民館は、将来の発展上、利用上からも大きなスペースを必要とする。合理的な合同庁舎として建設してほしい。

警別公民館が快陥なことは、十分承知しており新築したいが、とりあえず、四十九年度中に現在の支所ならびに公民館の改造等を検討し住民の不便を解消したい。

国道三十六号線の拡幅工事は、四十九年度中には、幌別地区の工事が行われるが、鉄道との立体交差なども設置するように働きかけてほしい。

幌別市街地の現在の国道三十六号線の拡幅は、住民の移転補償など多くの問題があり、立体交差を設けるにしても、海側に国道を切替えるように折衝しており、近く測量調査することになっているので実現に努力したい。

市立総合病院の建設により、市

内の医療施設の充実を図ってほしい。建設できない理由は、

市内には合計十六の病院があり他市と比べ、医療体制がおとるとは思っていない。市立総合病院の建設は、財政的にも医師不足の関係からまだだちに建設することはむずかしい。

肢体不自由児と寝たきり老人の実態の把握と対策をどのように考えているか。温かい援助をお願いしたい。

市内には三十一名の肢体不自由児がいることを確認している。

このうち八名の児童が、室蘭マザーズホームに通所、訓練を受けている。訓練施設に入らなければならぬ児童は、関係機関と連絡調整のうえ取容させているが、市内においても、訓練施設を検討していきたい。

また、要保護老人世帯は、男六十五歳以上女六十歳以上で六十世帯あり、ホームヘルパー派けんが必要を三十五世帯は、ホームヘルパーを派けんさせている。今後、ホームヘルパーを増員して、出来るだけ巡回するなどして全世帯を回るようにしたい。

激増を示している交通事故対策の上からも、中心街の公営駐車場の設置、富士橋通り商店街の交通安全対策と歩行者天国、買物公園の設置、歩道、信号機設置などの安全施設の増設や改善をすすめてほしい。

中央通り中心街に有料駐車場設置の必要性は、十分理解できるが最も利便な所を駐車場にするには用地確保に莫大な費用を必要とするので今後、利用者の実態を把握して検討していきたい。歩行者天国は、関係商店全部の協力が得られれば実現可能と思うのでさらに努力する。

河村酒店橋の変則五差路は、市としても第一の交通安全対策の問題と考え陳情している。また、交通安全施設の整備についても、積極的に取り組んでおり、さらに善処していく。

来年四月から開校する幌別第二中学校は、二カ年継続事業で屋体も特別教室もなく、高校入試を前にした生徒が入るので、このことを十分に配慮して第二期工事を早期に着手できるようにしてほしい。また、登別高校の受験生三人に一人の合格率という中で、間口増を図って学級をふやすことが出来ないか。

学校施設の整備は、全国的な市長会、議長会を通じて国に対し強

く要望しているが、危険校舎、学級拡大などを抜本的に解決するには、現在の制度を根本的に改正するほかに方法はない。しかし、登別市の場合には、他市町村に比べ認可の度合いが良いと思うが、出来るだけ二不便をかけないように努力する。

登別高校の間口増は、必要なことと判断し、道教委に強く要請している。十二月上旬までには、結論が出ると思うので、さらに努力するし、どうしてもだめなら新設校の誘致も進めたい。

自衛隊は、かつての帝国軍隊の何倍もの力量をもつ軍隊である。

これに対して長沼判決は、明確な違憲判決を下したが、自衛隊の募集事務はやめるべきであり、幌別駐とん地の撤去を国に対して申し出るべきであると思うが。

基本的な考え方として、判決を尊重しなければならぬが、募集事務は国の機関委任事務であり地方自治法等の関係法令により義務づけられているので、これらの法改正がない限り返上し得ない状態と受けとめている。基地撤去の問題は、先の議会で考え方を述べたが、違憲判決によって考え方が変わるものではない。また、開隊記念日の児童、生徒の隊内見学は一般市民として、参加しているもので教育委員会では関与していない。

美ぼうを取り戻すために

第8回かあちゃんオリンピック開催



入場行進する昨年の優勝チーム新和会



一升びんをピン代わりのボウリング競技。ストライクがなかなか出ず奮闘するかあちゃん



れっきとした男性が女性に変身=右



豪快な身振りの応援団長に観衆は注目

さわやかな秋晴れに恵まれた九月二十八日、登別市婦人団体連絡協議会主催の第八回かあちゃんオリンピックは、観別中学校グラウンドで開かれました。

年々盛大になるかあちゃんオリンピックは、今年から新たに各団体の入場行進が行われ、二十一歳の若いママさんから七十歳を越えるおばあちゃんまで参加し、個人団体の競技が行われました。

競技の進行も婦人会員自らの手によって進められ全種目を、楽しく笑いのうちに終了することができ、日頃のストレスを解消しました。

まず、聖火ランナーが会場を一周して聖火台に点火して、かあちゃんオリンピックの幕あけ。選手宣誓は、「私たちがあちゃんは、家庭サービスティという重労働によって日ごとに欲求不満がつり、健



大風呂敷でも中味が軽いものと重いものがある。重いものをついだら走るのが大変



おばあちゃんも元気に参加



童心にかえりふだんの苦勞を忘れて明るいがあちゃんたち



大きなヒップも障害物競走では障害物になるの

康と美ぼうが失われよつとして
 いる。きょうはかあちゃんのを結
 集し健康と美ぼうを取り戻すため
 力いっぱい戦います」とハッスル
 かあちゃんの元気な選手宣誓です。
 競技は、百メートル走や障害物競走
 のほか、タイヤをころがしながら
 リレーする宇宙旅行、一升びんを
 ビン代わりにしたボウリング競争
 ダンボール箱を包んだ風呂敷をか
 ついで走る「大ぶろしき」、でん
 ぶんの中に顔を入れアメ玉を口に
 ほおばる「美しくなる時間」。男
 性を「美女」に変身させる「変身
 は、男性にカツラ、ブラウス、ス
 カートなどを着せてタバコをくわ
 えさせ火をつけるリレー、座頭市
 登場など工夫された楽しいゲーム
 がたくさん。

会場には各チームの色とりどりの
 応援旗が旗めき、登別温泉チー
 ムは、赤鬼の面に鬼踊りゆかたで
 変装した応援団長がフレーフレー
 と応援。子供たちも「ママがんば
 れ！」と一生懸命に声援を送って
 いました。

この日のハッスルかあちゃん達
 果して、健康と美ぼうが取り戻す
 ことができたでしょうか？ 体力
 回復、健康増進のためにも常日頃
 からスポーツに参加するなどして
 体力づくりに努めてはいかかです
 ようか。

整然

隣りにも声かけあってよい防火

火災予防運動展開中



道内における火災は、寒冷積雪期を迎えるにあたり多発し、しかも大火災の危険性が高いので、今年も「隣りにも声かけあってよい防火」を統一標語に、全道的な火災予防運動が実施されています。

各家庭においても火の元には充分注意していただきたい。

●住宅火災で死者が多いのは、乳幼児、老人、病人などです。

また、最近では新建材をはじめ石油化学製品が多く使用されるようになり、火の回りが早く、有毒ガスを出す要素が多くなってきました。特に夜間の火事は危険です。万一に備え、わが家にあつた消火と避難の方法を考慮しておく必要があります。

●火のついたタバコの温度は六百度、吸うと八百度近くになりますので、タバコの投げ捨てや、寝タバコはやめましょう。

●ガス、石油ストーブ等による出火は器具自体の故障よりも、誤った取り扱いが原因の大半をしめています。石油ストーブの火を消さずに給油したり、持ち運んだり、カーテン等のそばに置いたりしないように心がけましょう。また、外出する前にはもう一度火の元を点検し、ガス等の元栓を閉めてから家を出しましょう。

総合体育館の備品にと

200万円を寄贈——川口商事

10月1日、川口商事株式会社一室蘭市宮の森町4丁目3番地（川口春一社長）は、登別市内で宅地造成を数多く手がけており、市民にもお世話になっているので、一部をお返し登別市のために使ってほしいと200万円を寄贈しました。

川口春一社長は、市長応接室で「登別市内での宅地分譲で会社も伸びました。市が今年建設する総合体育館の備品の一部にあててください。完成しましたら、また寄贈したい」とのべ、高田市長に手渡しました。

これに対し、市長は「有難くお受けします。体育館の備品をそろえるために有効に使います。」と感謝していました。



市に100万円のプレゼント

伊奈昭夫さんが図書購入にと

9月29日、伊奈不動産（代表伊奈昭夫（40）幌別町241）は、昭和38年に独立開業してから10周年を迎えたのを記念し、市に対して100万円の寄贈をしました。

伊奈さんは、初め記念パーティなどを考えたが、日頃、図書館の運営に関心をもっていたことからこれを廃止して図書購入費に使ってほしいと市長に手渡したものです。

伊奈さんは、これからも続けたいと言っており、市立図書館ではライオンズ、ロータリー、上田、信金の4つの文庫があるが、つづいて5番目の伊奈文庫としてコーナーを設け、図書をそろえていくことにしています。



寄贈 二題

暮しのしおり



秋の日射は、目にしみるように白っぽく見え、澄みきった大気に咲いた秋菊は夏菊とちがって萎もしまり、一だんと深い色とにおいを放ちます。

朝夕めっきり涼しくなつて、うすら寒ささえ感じる日が多くなつてきますと、からだの調子がよくなくて、夏のあいだ続けていた手洗いや、うがいを忘れてしまいがちです。

空気の冷たさは、はだよりものどへ先に感じるものです。冷たい空気といっしょに吸いこんだほこりで、のどを痛めたり、かぜを引きこんだりするかがふえています。

朝・晩、そして外出から帰つたときには、子どもさんばかりでなく、おとなもうがいの励行を改めて習慣づけましょう。うがいはふつうの水でもいいのですが、食塩水や重曹の水を作っておくほうがいいでしょう。別に殺菌力はありませんが、口やのどを刺激して分泌を高めた細菌に対する抵抗力をいっそう高めます。



ちびっこ剣士、女剣士も大ぜい参加した第18回登別市民剣道大会



大人顔まけの技が出て応援のお父さんお母さん大喜び



秋の一日を心静かに俳句を詠じた全道俳句大会

スポーツの秋たけなわ

体育の日の十月十日、スポーツの秋にふさわしく市内各地では、各種の催し物が開かれました。

登別市剣道連盟（会長中林豊次）では、第十八回市民剣道大会を開催、気合いのはいった好試合を展開。登別市サッカー協会（会長伊藤博）のちびっこサッカー大会は今年で四回目を迎えて、幌小グラウンドで行なわれ、グラウンド狭しと懸命にボールを追い回して、汗を流していました。

また、幌別中学校グラウンドでも緑ヶ丘町内会（会長松田徳之助）が、町内のみなさんを集めて、日頃の運動不足とストレスを解消しようと、第八回運動会を行いました。おとしよりから幼児まで一家そろっての「体育の日」、残り少ないさわやかな天気を楽しんでいました。



緑ヶ丘町内会の大運動会「身体をきたえよう」の場面

全道俳句大会ひらく

創立25周年の登別市俳句会

登別市俳句会の創立二五周年を祝う、全道俳句大会が九月三十日市総合文化祭の行事として、中央公民館で開かれました。

全道から二百十句の作品投句があったほか、大会には約七十人の道内俳人が参加しました。

東京から武蔵野大学教授「冬草」の主宰、加倉井秋を先生を招き講演「あわれとおかし」があり、投句作品の発表、席題による句会、記念撮影、懇親会などが行われました。登別市出身者の入選作品は、雲を結い雲を放ちて湖の秋

市岡美智子
みどりこの寝息つ、みて菊香る
・高木 美代

屯田の喬として妻月杞る
今野 広人

市の人口

8月末現在
総人口 49,158(155増)
男 24,558(68増)
女 24,600(87増)
世帯数 14,321(230増)

() 内は先月との増減

毎月10日は「防火の日」

正午にサイレンを鳴らします



図書館コーナー



開拓記念碑一札内

すすんで

スポーツ教室に参加しよう

最近では、市教育委員会、体育協会が体育施設などで、スポーツ教室、体力づくりの会など、さまざまな行事を準備して参加をよびかけています。費用もほとんどかからず、時間の都合のつく限りつとめてこれらの会に参加されてはいかがでしょう。

さらには、すでに昔話になりつつありますが、東京オリンピックで、日本の女子バレーチームが優勝して金メダルをとったことも一つの刺激になって、全国各地にママさんバレーボールチームが誕生しています。これらのグループに

郷土資料についてお願い

広報八月号でお願いしましたが更に付け加えてお願い致します。

お家の中を整理したり、改装等の時、名称や使用した覚えのない品を見付けたら、幼い時父母や祖母が使用したが現在ほとんど使わず、むしろ不要と思われる品を焼却投棄しようと考えられた時、ご面倒でも一応ご連絡をいただきたいと思致します。

郷土資料室はあなたのお家の一部であり、また、われわれが受けた文化財や民族資料の遺産を子孫に伝える共同の保管所であると云うお考えで、資料室の充実にご協

力の程お願い申し上げます。例えば次のようなものを集めようとしております。

ラップ、時刻表、切符等
嗜好に使ったもの
キセル、煙草入れ、銚子、盃等
娯楽運動に使ったもの
笛、大正琴、双六、カルタ、オハジキ、スケート等

生活に使ったもの
刺子、判天、カッパ、服、長靴
鍋、釜、土びん、井るい、鉢
三平皿、ろかき、時計、矢立、
カンテラ、手桶、台所用品、家
具調度品、宗教用具、教育具等

生産に使ったもの
農具、漁具、木挽き用具、鋸業
用具、工業用具、澱粉作り用具
綿羊用具 等

運搬通信文通に使ったもの
馬そり、荷車、電話器、ラジオ、
綿羊用具 等

正月用具、節句用具、盆用具等
人の一生に使ったもの
産育用具、冠婚葬祭用具等
その他
動植物の標本、古地図、古文書、
写真、絵画、鉱物、岩石、化石、
石器、土器等

への人口集中という事は、今日ではさけることのできない一つの勢であり、しかし、この多くの人々が住んでいる都市社会は、どんな状況でしょうか。確かに、生活はしやすいかもしれませんが、公害、交通戦争、自然の破壊等々、必ずしも人にとって快適な生活を送る場所としてはふさわしくないようです。もちろん、私たちは、都市生活の中にも緑をと

とを考へるべきではないでしょうか。都市社会に生活している人はしらすらすのうちに健康はむしろ衰えてしまおうでしょう。人口の都市集中、都市の拡大化によって、自然から次第に私たちは遠ざけられていってしまう、かつての海水浴場、汐干狩り、散策の場所は、埋立て、水の汚染などによって、そのような活動すらできなくなっています。しかし、なお、多くの地も残っています。私たちはつとめて、戸外に出て、自然の恵みの中で、身心的活動を心がけていきたいのです。

登録市米馬町二六一番地
登録市立図書館
電話 五一四三二四

市民の声



九月十五日、午前七時ごろ梶別中学校横で、私たちがかわいがっている犬と散歩と途中、犬が道路に飛び出し、猛スピードで走ってきた車にひかれてすぐに死んでしまいました。

私の目の前でアツという間の出来ごとでした。
中学校通りだというのに、七〇というスピードで走っていた車は、犬をひき、ブレーキをかけても止まりませんでした。そして、そのまま何もいわずに走って行ってしまいました。

犬をひいて散歩をしていた私も悪いと思いますが、犬をひいた車の運転手は、「すみません」と一言ぐらい言ってもいいのではないのでしょうか。かわいがっていた犬が死んでしまい、私はかなしくてもありません。それから二、三日も、食事がのどを通りませんでした。

登録市の運転手の皆さん、中学校通りなどで七〇という猛スピードで運転してもよいのでしょうか。たとえ犬であつても、いくら小さな事でも一言わびるようになってほしいのです。

(梶別小学校六年 市村朝美)

体力づくり
メモ

して役立てられるばかりでなくいろいろな価値をひきだすことができるでしょう。

自然との接触

野外活動の機会を

前にものべましたように、都市

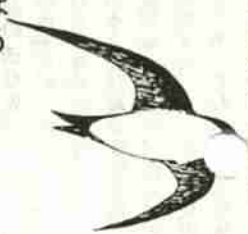
広報のほりば おしらせ

発行 48. 10. 15 No.38

登別市民憲章

未来をつくる青少年の
健全な夢の育つ
まちをつくりましょう

未来をつくる青少年の
健全な夢の育つ
まちをつくりましょう



学校名を 募集します

市教育委員会では、現在観別西小学校の東なりに建築中の、観別第二中学校（仮称）の名称を募集しております。

この学校は、鉄筋コンクリート四階建てで、今年度第一期工事（普通教室、職員室その他）、明年度第二期工事（特別教室、屋内運動場その他）で、明年四月一日開校の予定です。

また、通学区域は、現在の観別西小学校と同じ区域を予定しております。新設中学校にふさわしい名称を、官製はがきに書いて多数ご応募ください。

期限 昭和四十八年十月三十一日
宛先 登別市教育委員会総務課
(市内来馬町二六六)

なお、採用分については、薄書を贈呈します。

技能検定

試験の実施

技能水準の向上と技能者に対する社会一般の評価をはかるため、昭和四十八年度後期の技能検定試験を、次のとおりおこないます。技能者はすんで受検されるようにしてください。

◎受付期間 十月二十日まで

◎実施職種 建築大工、板金、造園、配管、和裁など十五職種。

◎実技試験

昭和四十八年十一月二十三日から昭和四十九年二月二十四日までの指定する日

◎学科試験

受験職種により昭和四十九年二月十七日または二十四日となります。

十月下旬の 予防接種

予防接種

十月下旬の予防接種を次によりおこないますので、次の点に注意して受けるようにしてください。

- ◎体温は必ず計ってください。
- ◎今月種痘を受けた乳幼児は、一ヶ月間他の予防接種は受けられません。

※実施日と予防接種名

十月十八日 三種混合、種痘

十月二十五日 三種混合

※会場 中央公民館

※時間 一時～一時三十分まで

入所申し込は早めに

養護老人ホーム

市では老人福祉のため、いろいろと施策を講じてきましたが、本年は特に養護老人ホームを建設して、老人の幸を一層たかめてまいりたいと存じます。

ついでに次により養護老人ホームの概要をお知らせしますので、入所ご希望の方はなるべく早やめにお申しください。

また近隣者や知人などで対象老人がおりましたら、入所をおすすめてください。

▽入所対象となる老人は

六十五歳以上（特別の事情がある場合は六十歳以上）の老人で身体が弱く日常生活に困る方、生活に困難な方、身寄りのない方、家族関係に悩みをもっている方、住居がないかまたは狭くて同居できない方など種々の事情がある場合とします。

▽入所料金は

入所する本人、またはその扶養義務者の所得に応じてある程度の負担となりますが、ほとんどの入所料金は無料となっています。

▽建設場所は

川上町二九二番地で、湖（観別ダム）の見える最も景色のよい、閑静なところで、菜園や花づくり散歩によく、生かがいのある生活をするには好適です。

▽部屋は

六畳間に二名とし夫婦の方も入所することができます。

▽施設は

浴場、娯楽室などあり、寮母さんがおりによく面倒を見てくれる等家庭的な温い雰囲気にあります。

▽開設は

昭和四十九年四月の予定です。

▽申込は

ただいま予約をうけつけております、くわしいことは福祉事務所へお申し出ください。

納税者の声を

聞く旬間

「納税者の声を聞く旬間」が、ことしも十一月一日から十日まで全国的に行なわれますが、この旬間の目的は、税務行政に対する納税者の皆さんのご意見やご要望を広くお聞きして、今後の施策や運営面に反映させるものです。

国税のことなら、何でも結構です。知りたいこと、苦情、ご希望などを室蘭税務署へお寄せください。（室蘭税務署から）

(2) 『カムイヌプリ』登山道路が完成

で4KM、約2時間。
◎登山口から室蘭岳頂上まで7KM、約3時間30分。
注意事項

観別ダムの横を登山口とするカムイヌプリ登山道路が完成しました。この道路はカムイヌプリ岳に登れると同時に室蘭岳まで縦走できる道路です。

頂上では洋々と広がる太平洋と長い登別市の街を一望に眺め、大自然の雄大さを味わうことができます。体力づくりのためにも一度御利用ください。

◎登山口からカムイヌプリ頂上ま

◎登山の時は宮林署観別担当区で入林許可を受けてください。
◎高山植物等を採集したら、持ちかえる事のないようにしてください。
◎ゴミは山に投げず必ず持ち帰ってください。
くわしいことは教育委員会社会教育課(電話五局五六六三)へお問い合わせください。

用紙を使用一人三編以内で一編につき五十行以内
併句
官製ハガキを使用、一人五句以内
川柳
官製ハガキを使用、一人五句以内
短歌
官製ハガキを使用、一人五首以内

昭和四十八年十二月十五日まで
◎作品の送り先
登別市来馬町二六六
登別市教育委員会内
登別市文芸誌編集委員会宛
応募原稿には住所、氏名、年齢を明記する。ペンネーム使用の場合であっても必ず名を併記してください。

「のぼりべつ文芸」誌第二号の原稿募集

◎募集資格
市内に居住する一般市民(高校生以上)

◎創作・評論
主題形式は自由四〇〇字詰原稿用紙を使用一人一編で五〇枚以内

◎随筆
主題形式は自由四〇〇字詰原稿用紙を使用一人一編を十枚以内

◎詩
主題形式は自由四〇〇字詰原稿

▽選考

登別文芸誌編集委員会が行ない「のぼりべつ文芸」誌に作品が掲載された方には同誌を贈呈いたします。(三月中旬刊行予定)

▽問い合わせ

市教委社会教育係(T・B・E、五一五六六三)にお願いします。

▽その他

応募作品は一切返却しません。文芸誌を希望する方には、実費で頒布いたします。

入学級を開設し前期を終了しました。
後期の学習会を次のとおり予定していますので、参加希望者は申込みください。

- △主な学習予定
・写真の写し方とカメラ
・テレビの利用と家族の対話
・財産づくりのために
・お金の上手な運用
・有価証券の上手な運用
・主婦と税金
・教養のために
・ヨーロッパにおける私の体験

- △申込先 市教委社会教育係(ハガキ、又は、電話で申し込み願います)
- △受講料 無料
- △その他 昭和四八年一月五日まで

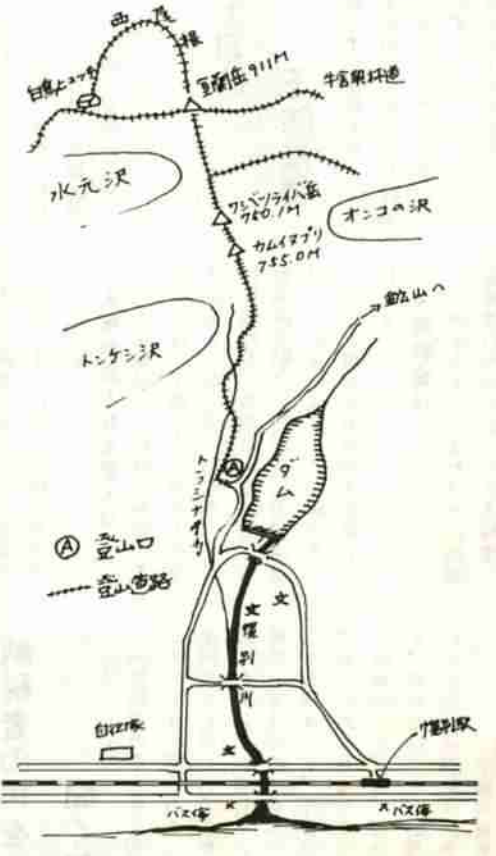
後期婦人学級生の募集

市教委では、これからの婦人として、又、主婦としての生き方や役割を考えようということで、婦

第五次漁業センサスに協力を

第五次漁業センサス本調査が、先実施しました準備調査を基礎にして十一月一日で実施されます。この調査は、昭和四八年における漁業の基本的生産構造、就業構造および背景を明らかにするとともに、漁業構造の改善等水産行政諸施策の基礎資料を整備することを目的としています。

つきましては、近日中に調査員がおうかがいすると思っておりますので準備調査同様特段のご協力を願います。
(企画課統計係から)



戦没者の妻、父母に 特別給付金の継続支給

戦没者の妻、および父母等に対し特別給付金が再度支給されることになりましたので、この手続きを市福祉事務所社会係でするようにしてください。

戦没者の妻に対する特別給付金

さきに、戦没者の妻に対する特別給付金(二〇万円の一〇年償還国債で、第一回目の償還が昭和三十八年十月三十一日のもの。)の交付をうけてから、本年四月三十日

でその国債の最終償還を終えた戦没者の妻に、あらためて増額された特別給付金(額面六〇万円、一〇年償還)が支給されます。

なお、前回の特別給付金をうけられるにもかかわらず請求しなかったため時効により失権したかたでも、該当者に対しては、今回の増額された特別給付金は支給されることとなります。

戦没者の父母等に 対する特別給付金

さきに、戦没者の父母等に対する特別給付金(一〇万円の五年償還で、第一回目の償還が昭和四十三年五月十五日のもの。)の交付をうけてから、昭和四十七年五月十五日をもって、その国債の最終償還を終えた戦没者の父母等に、あらためて増額された特別給付金(額面三〇万円、五年償還)が支給されます。

なお、戦没者の妻に対する特別給付金と同様に、前回の特別給付金を請求しなかったかたでも、該当者に対しては今回の増額された分は支給されることとなります。

胃腸病検診をおこないます

市では、例年道対がん協会の協力を得て胃腸病検診を行なっております。

今年も次の日程により検診を行ないますので希望者は期限厳守のうえ申込みください。

日程の都合上各日とも100名になりしだい締切りますので早目に申し込んでください。

◎受診対象者 満35歳以上の方

◎検診料 次の方を除き850円

・国保加入者 255円

・生保及び受診当月70歳以上 350円

◎申込期間 10月15日～22日まで

◎申込先 市役所衛生課または最寄りの支所

実施場所	受付時間	実施場所	申込限度
10月27日	午前7時～9時	登別温泉支所	100名
10月28日	"	幌別生活館	100名
10月29日	"	登別支所	100名
10月30日	"	鷺別支所	100名
10月31日	"	幌別生活館	100名

山では

クマにご用心

今年春先からクマの異常出没が予想され、入山者の注意を呼びかけていましたが、このところ各地でクマによる人身事故が発生しています。

秋グマは夏の間、山奥に移動していたものが、冬眠前のエサを求めて人里近く出てくるもので、食欲が盛であり、性格も狂暴になっているのが特徴です。

キノコ採りなどで入山する機会も多くなる季節ですが、入山するときは次のことに注意しましょう。家族に必ず行き先を告げること。単独行動は絶対さけること。笛や太鼓などの予防器具を必ず携帯すること。

とくに国有林に入山する場合は必ず最寄りの営林署や担当区事務所で入林の手続をとるとともにクマに関する情報を熟知すること。

落とし物はあきらめず 警察に届けましょう

警察では、皆さんから、拾った現金や品物の届出をうけますと、すぐ落とし主に連絡をしますが、落とし主のわからない品物などは、警察署の窓口においてある「拾得物

「一覽簿」に記載します。この「拾得物一覽簿」はどなたでも自由に見られるようにしてあります。

去年一年間に室蘭警察署に届出のあった拾得件数は、二四七二件で、このうち落とし主のわかっていたのはわずかに四六五件です。

これは、落した人の多くがあきらめて警察に届出ないからであると思われまふ。

もし、落し物をした場合は次のことを励行してください。

○届出の励行

落し物をした時はあきらめないで、近くの交番か駐在所または警察署に届けましょう。

○「拾得物一覽簿」 閲覧の励行
落し物をしたと思われる地域を管轄する警察署に気軽に出かけ窓口で備え付けてある「拾得物一覽簿」を手にとって見ましょう。
(室蘭警察署から)

ご寄付ありがとうございます

ご寄付ありがとうございます

『愛情銀行へ』

青森県人会 二〇、〇〇〇円
山崎数子 来馬町 一〇、〇〇〇円

兵わし町内会 五、〇〇〇円

但木徳雄 四、〇七七円

『物品寄贈』

匿名 雑布 一〇〇枚

第9回登別市民総合文化祭



10月21日

11月10日

登別市総合文化
祭実行委員会では
市内における芸術
文化の振興を図り
豊かな市民性を涵
養しようというこ
とで、十一月三日
「文化の日」を中
心に次のとおり発
表いたします。
また、実行委員
会では、行事ごと
の作品の発表や参
加を広く募集して
いますので、市教
委あて(十月二五
日まで)申込みく
ださい。

行 事 名	期 日	時 間	場 所
振 芸 術 祭 川 柳 大 会	1 0 月 2 1 日	12:00~17:00	中 央 公 民 館
生 花 展	10月31日~11月1日	10:00~18:00	"
式 読 の タ べ	1 1 月 2 日	18:00~21:00	"
生活文化展(郷土資料)	11月2日~11月4日	10:00~18:00	市 立 図 書 館
アマチュア無線フェスティバル	1 1 月 3 日	8:00~15:00	青 少 年 会 館
特 殊 学 級 展	11月2日~11月5日		中 央 公 民 館
菊 花 展	11月2日~11月4日	10:00~18:00	新 日 鉄 会 館
盆 栽 展	11月3日~11月5日		商 工 会 館
舞 踊 発 表 会		11:00~15:30	
社 交 ダ ン ス 大 会	1 1 月 3 日	17:30~21:00	
茶 会		10:00~15:00	
子 ども 音 楽 会		9:00~16:00	
詩 吟 発 表 会	1 1 月 4 日	17:00~21:00	
将 棋 大 会		9:00~17:00	
道 展	11月5日~11月7日		中 央 公 民 館
写 写 展	"		
青年学園3周年記念作品展	11月7日~11月8日		
絵 画 展			
手 芸 展			
俳 句 展			
川 柳 展	11月8日~11月10日	10:00~18:00	
短 歌 展			
かあちゃん生活展			
登 別 地 区 展			登 別 公 民 館
鷺 別 地 区 展	11月2日~11月4日		鷺 別 公 民 館
上 鷺 別 地 区 展			ひまわり園・光和園